

令和6年3月26日

官民共創による寄附促進事業「文化財サポーターズ」について

文化庁は、社会全体で文化財を次世代に継承していくため、公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団、PROJECT_Vega（株式会社博報堂の官民共創推進組織）、READYFOR 株式会社とともに官民共創による寄附促進事業「文化財サポーターズ」を開始しました。

1. 趣旨・目的

社会全体で文化財を次世代へ継承していくために、個人・企業が文化財との新しいつながりを持つきっかけとしての寄附という新たな取組を普及することを目的として、官民共創による寄附促進の仕組みを構築します。

2. 「文化財サポーターズ」の内容

1) 文化財の保存・活用のための寄附促進に関する連携協定

文化庁と READYFOR 株式会社は、個人や企業が文化財の保存・活用に参加し、文化財に対する共感を育む機会になることで、文化財の支え手の輪が広がっていくことを期待し、文化財の保存・活用のための寄附を社会に一層定着させることにより、文化財を次世代に確実に継承していくために協働することで合意しました。

2) 文化財保存活用コーディネーターの配置

民間のファンドレイザーなどを文化財保存活用コーディネーターとして文化庁に配置し、文化財所有者の寄附募集を支援します。

3) 個人・企業からの寄附促進・助成事業

文化庁、公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団及び PROJECT_Vega は、個人・企業からの寄附を原資とする文化財の保存・活用への助成事業を開始します。

第一弾のテーマは「令和6年能登半島地震」とし、被災文化財の復旧・復興支援に対し寄附を募集します。

また、第一弾の応援団長として、松井秀喜氏に就任いただきました。

<担当>

文化庁文化資源活用課

課長補佐：春田 鳩麿（内線 4888）

専門職：原澤 優介（内線 9662）

電話：075-451-4111（代表）

075-451-9662（直通）

文化庁及びREADYFOR 株式会社による

文化財の保存・活用のための寄附促進に関する連携協定

文化財は、我が国の歴史や文化の理解に欠くことのできない貴重な国民的財産です。このような文化財を保存・活用しながら次世代に継承していくことは、先人の努力により護られてきた文化財を受け継いだ我々の責務と言えます。

近年、文化財を対象としたクラウドファンディング等の寄附募集の取組が徐々に広がりつつあります。このような取組を通じて、個人や企業が文化財の保存・活用に参加し、文化財に対する共感を育む機会になることで、文化財の支え手の輪が広がっていくことが期待されます。

一方で、文化財所有者等の高齢化や地域の過疎化などを背景に、こうした寄附募集の取組を行うことが困難な場合もあり、これをサポートする仕組みが必要とされています。

文化庁と READYFOR 株式会社は、このような背景について認識を共有し、文化財の保存・活用のための寄附を社会に一層定着させることにより、文化財を次世代に確実に継承していくために協働することで合意しました。

文化庁と READYFOR 株式会社は、本連携協定に基づき、以下の活動を展開していくとともに、今後継続的に協働する分野・取組の協議を進めていきます。

1. 文化財の保存・活用のための寄附に関する社会的気運の醸成
2. 文化財の保存・活用のための寄附募集の取組に関する地方公共団体や文化財所有者等に対する普及啓発
3. 文化財の保存・活用のための寄附募集に取り組む文化財所有者等への支援
4. その他、文化財の保存・活用のための寄附の促進に向けた継続的な協議

本協定の有効期間は本協定の締結日から 3 年間とします。ただし、文化庁又は READYFOR 株式会社双方特段の申出がなければ、自動的に 1 年間延長されるものとし、以降も同様とします。

令和 6 年 3 月 26 日

文化庁 長官 都倉 俊一

READYFOR 株式会社 代表取締役 CEO 米良 はるか

みんなの力で、誇りをつなぐ。

文化財サポーターズ



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



READYFOR

官民共創クリエイティブスタジオ
PROJECT_Vega

みんなの力で、誇りをつなぐ。

文化財は、「守る」だけでは、守りきれない。
保存修理だけではなく、活用するからこそ、
魅力が伝わり、支援が集まる。
その継続が、未来の文化財保護になっていくはず。

だから始めます。

官民共創による寄附促進事業「文化財サポーターズ」。

寄附することを、ゴールではなく
文化との新しいつながりのスタートへ。
日本の文化財を次の世代へ受け継ぐために、
あなたもサポーターになりませんか？

「文化財サポーターズ」募集開始



能登支援プロジェクト

能登の文化を、次の世代に。

文化財サポーターズ第一弾
令和6年能登半島地震



能登の文化を、次の世代に。

2024年1月1日の地震。

被害を受けたのは、人や住宅だけではありませんでした。

能登半島の美しい自然。建造物。職人の技術。お祭り。

有形無形問わず、さまざまな文化財が大きな被害を受けました。

文化財は、地域の人の心を支えるアイデンティティでもあるから。

連綿と受け継がれてきた能登をはじめとする各地域の文化を

子どもたちに、そしてさらに未来へと受け継ぐために。

文化の復興支援を、よろしくお願ひいたします。

文化財サポーターズ第一弾
令和6年能登半島地震



写真提供：石川県

ロゴの活用について



文化財サポーターズの理念に反しない範囲であれば
基本的に企業・個人ともに利用は自由です。
ただし、企業・個人ともに「資金調達目的」「商業
用途」の場合などは一定の制限を行う予定であり、
運営事務局に申請等が必要となります。

応援団長 ご紹介



文化財サポーターズ

第一弾

応援団長

松井 秀喜

石川県能美郡根上町（現 能美市）出身

——文化財サポーターズ第1弾——

令和6年能登半島地震 文化財復興 緊急支援

写真提供：石川県

能登の文化を、次の世代に。

2024年1月1日の地震。

被害を受けたのは、人や住宅だけではありませんでした。

能登半島の美しい自然。建造物。職人の技術。お祭り。

有形無形問わず、さまざまな文化財が大きな被害を受けました。

文化財は、地域の人の心を支えるアイデンティティでもあるから。

連綿と受け継がれてきた能登をはじめとする各地域の文化を

子どもたちに、そしてさらに未来へと受け継ぐために。

文化の復興支援を、よろしくお願ひいたします。

寄付方法

郵便局振替、銀行振込、クラウドファンディングでお受けしています。

※詳細は右のQRコードを読み取るか、裏面をご覧ください。



能登半島地震と文化財の被害状況

2024年1月1日の午後4時10分ごろ、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が起きました。揺れだけではなく、津波や地盤の隆起により被害が拡大し、多くの建物が倒壊しました。その建物の中には文化財も含まれています。

区分	被害状況
国宝・重要文化財（建造物）	57件（登録総数：107件）
登録有形文化財（建造物）	158件（登録総数：1,004件）
その他国指定等文化財	62件
地方指定・登録文化財	120件

2024年3月21日現在。※最新の被害状況は、文部科学省HPをご確認ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/notohantoujisin/

皆様から届いた心温まるご支援は、被災した文化財所有者等に届けます。2024年の夏に文化財の復旧・復興が必要な文化財所有者等から申請を受け付けることを予定しています。その後、審査の上で配分先を決定し、支援金を届けます。

支援を決定した文化財の情報は、財団のウェブサイト等にて報告します。

<https://www.bunkazai.or.jp/90noto/>

※文化財所有者等からの申請を待たず、文化財の緊急保全等の支援に寄付の一部を充てる場合があります。また、本事業の運営に必要な経費については、寄付の一部を充てさせていただきます。

皆様からの寄付

文化財所有者等からの申請（夏頃）

資金の配分先の決定（年内）

文化財所有者等への支援

寄付の方法は3種類からお選びいただけます。

クラウドファンディング「READYFOR」のページから寄付をしていただけます。また、クレジットカードなどの寄付が難しい方のために郵便局と銀行からのご支援もお受けしています。

文化財の救援、そして未来へつなぐためにご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

郵便振替

銀行振込

READYFOR
(クラウドファンディング)

振替番号
00170-1-499266
加入者名
公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団

三井住友銀行 上野支店
普通8399622
口座名義
公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団
※銀行振込の場合、下記財団まで事前に御連絡をいただけますと幸いです。

令和6年能登半島地震
文化財復興緊急支援 文化財サポートーズ募集
<https://readyfor.jp/projects/90noto>

公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-50
TEL.(03)5685-2311 FAX.(03)5685-5225
<https://www.bunkazai.or.jp/>

文化財サポートーズとは？

日本の文化財を次の世代につなげるために誕生した、官民共創による寄付促進事業です。寄付することを、ゴールではなく文化との新しいつながりのスタートにすることを目指します。

